

京都市産業観光局
〔担当：産業イノベーション推進室〕
〔電話：075-222-3324〕

(地独)京都市産業技術研究所
〔担当：京都バイオ計測センター〕
〔電話：075-326-6101〕

令和6年度 京都バイオ計測センター 人材育成事業・分析技術講習会の実施

京都市及び(地独)京都市産業技術研究所(以下、産技研)では、バイオテクノロジー関連の高度分析機器を配置した京都バイオ計測センターにおいて、機器の共用利用による共同研究の推進や中小企業等の研究開発、高度分析技術者の育成等の支援に取り組んでいます。

今年度、企業の技術者をはじめ、大学及び公設機関の研究者の分析技術の高度化を目的とする「人材育成事業・分析技術講習会」を開催します。

1 年間講習会予定(全8回)

	開催月	講師	形式	テーマ(対象機器)
第1回	令和6年 6月19日、20日	山本佳宏 (産技研プロジェクト推進室長)	座学 実習	バイオインフォマティクス 詳細： https://tc-kyoto.or.jp/kist-bio/news/koushukai-202401.html
第2回	7月	市原謙一 (京都府立大学名誉教授)	座学 実習	GC(ガスクロマトグラフ)
第3回	7月	(株)島津製作所	座学	MALDI-TOF/MS(マトリックス支援レーザー脱離イオン化飛行時間型質量分析装置)
第4回	9月	(株)島津製作所	座学	LCMS(液体クロマトグラフ質量分析装置)
第5回	10月	グローバルライフサイエンス テクノロジーズジャパン(株)	座学 実習	Biacore(生体分子間相互作用解析装置)
第6回	11月	(株)島津製作所	座学	GCMS(ガスクロマトグラフ質量分析装置)
第7回	12月	(株)堀場製作所	座学 実習	ラマン分光装置
第8回	令和7年1月	(株)島津製作所	座学	HPLC(高速液体クロマトグラフ)

※ 講習会内容、開催回数が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

2 対象者

企業の技術者、大学及び公設機関の研究員 など

3 会場

京都バイオ計測センター（〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町9-1）、
（株）島津製作所本社（〒604-8442 京都市中京区西ノ京桑原町1） など

4 講師

各機器装置のメーカー技術者、大学研究員、京都市産業技術研究所研究員 など

5 参加費

無料

6 講習会の実施方法

原則、実験室内で講師と受講者とが
対面する方式により実施。



（昨年度の講習会の様子）

7 第1回目の定員及び申込方法

(1) 定員

10名（先着順）※ 定員に達し次第、受付終了

(2) 申込方法

次の①～⑥事項を明記のうえ、以下のアドレス宛にメールを送信。

- ・アドレス：kist-bic@tc-kyoto.or.jp
- ・明記項目：①名前（ふりがな） ②所属（企業名、大学名等）
③部署・役職 ④メールアドレス ⑤電話番号
⑥当該機器の分析・実験の経験の有無

※ 第2回目以降の開催日・定員・申込方法・講師など、講習会毎の詳細は、確定
次第、以下のURL（京都バイオ計測センターHP）で随時発表します。

<https://tc-kyoto.or.jp/kist-bic/category/event>

また、産技研メールマガジンでもご案内を配信いたしますので、以下のURL
からぜひご登録ください。

<https://tc-kyoto.or.jp/mail/>



【参考】京都バイオ計測センター

バイオテクノロジー関連の高度分析機器の共同利用による共同研究の推進と中小
企業の研究開発・人材育成を行うために国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）
の支援を受け、京都市が平成23年に開設しました。

JSTから譲渡を受けた高度研究機器を活用し、地域の特色を生かした産学官連携
拠点を整備することにより、地域発のイノベーションの創出を推進し、科学技術によ
る地域活性化を図ります。

なお、本講習会は、平成23年度から実施し、これまで累計3,183人が受講して
います。（令和5年度：開催回数8回、受講者数157人）。